

旭川市報道依頼

各報道機関様

KJ00282246

2024年6月17日

発信課	総合政策部都市交流課
担当者	今田 英男
連絡先	電話 内線80+2532
	F A X 0166-23-4924
	E-mail toshikoryu@city.asahikawa.lg.jp

分類	イベント・行事 [○] 募集 [] 契約・入札 [] 会議・説明会 [] その他 []
日程	令和6年6月21日 14時00分 ~ 令和6年6月21日 14時15分
発表項目 (行事名)	JICA課題別研修「農民主体型用水管理システム(A)コース」研修員帰国挨拶
概要 (趣旨・日時・場所・内容等を記入すること。)	<p>研修期間 令和6年5月12日～6月26日</p> <p>研修先 大雪土地改良区</p> <p>研修概要 自国あるいは地域の事情にあった農民主体型用水管理システムに関する課題を分析し、用水管理組織を改善、強化することを目的とし、7か国7名の研修員の皆様が、旭川市を含む道北地域における水利組織が有する用水管理に係る成功体験、ノウハウを学びました。</p>
添付資料	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
報道(取材)に当たってのお願い	
備考	

来客

日 時 令和6年6月21日（金）
14:00～14:15
場 所 秘書課 第2応接室

1 来 序 者

JICA課題別研修「農民主体型用水管理システム（A）コース」研修員
7か国7名

＜同行者＞

・ JICAからの受託機関	
大雪土地改良区	理事長 佐々木 辰吉 氏
同	参事 松尾 秀人 氏
同	総務課長 佐々木 洋文 氏
同	主事 片貝 純也 氏
・ JICA北海道	所長 阿部 裕之 氏
同 研修監理員（兼通訳）	藤田 辞 氏
同 國際協力推進員（旭川デスク）	薮 たかね 氏

2 来庁目的

研修員の皆様は、自国（あるいは地域）の事情に合った農民主体型用水管理システムに関する課題を分析し、既存の用水管理組織を改善・強化するためのアイデアを得ることを目標とし、本年5月12日に入国、14日から大雪土地改良区にて研修を受けられました。6月26日に帰国されることから挨拶に見えるものです。

3 表敬訪問関連資料

式次第

4 研修概要 ※実施要領は別紙6のとおり

- (1) 研修コース名 農民主体型用水管理システム（A）コース
- (2) 研修先 大雪土地改良区
- (3) 研修期間 令和6年5月12日（日）～6月26日（水）約7週間
- (4) 研修内容
 - ・土地改良区の概要、役割、運営、予算等の講義
 - ・近郊農家、農協、農業試験場、土地改良施設等の視察
 - ・灌漑組織の現状把握と問題分析、アクションプラン作成、発表などの演習

5 参 考

- (1) 研修対象者は、中央または地方政府で灌漑管理を担当している行政官で実務経験年数が3年以上の職員です。
- (2) 旭川市を含む道北地域における水利組織（土地改良区）が有する用水管理に係る成功経験、ノウハウを学ぶことを通じ、研修員が自国・地域における参加型用水管理システムの改善、強化策を検討することができるよう、必要な能力強化を図ることを狙いとしています。
- (3) 本研修は、平成14（2002）年度から地域提案型研修として本市がJICAに提案し、実施したもの。平成18（2006）年度よりJICAの研修コースに組み入れられ、現在まで継続して実施されています（令和2（2020）年度及び令和3（2021）年度はオンラインで実施）。

JICA課題別研修「農民主体型用水管理システム（A）コース」研修員
帰国挨拶 次第

日時 令和6年6月21日（金）
14:00～14:15
場所 秘書課第2応接室

- 1 開会
- 2 挨拶 旭川市長 今津 寛介
- 3 研修員自己紹介
- 4 歓談
- 5 記念品贈呈
- 6 記念撮影
- 7 閉会